

授業科目	茶道文化ⅢA			担当教員	安部 直樹・嶋内 麻佐子・※龍 美穂子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>不時点前・雪吹点前の習得を通して、もてなしについて考える力を培い、社会生活に必要な礼儀作法やグループの中でのコミュニケーション能力を高めることを目的とする。花生け体験の中で、花の取り合わせや「格」について理解する。また煎茶の淹れ方を習得し、日常生活で活かせるもてなしを学ぶ。</p>							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	7～8名のグループで仲間と協力して、実技(片付けを含む)に取り組むことができる。			授業への参加 (取り組み)		15%	
思考・判断							
技能・表現	「不時点前」と「雪吹点前」を実践できる。			実技試験		80%	
知識・理解	三つの点前(不時点前・雪吹点前・唐物点前)の特徴を理解し、説明できる。茶花の真・行・草の生け方の特徴を理解し、説明することができる。			ペーパーワーク		5%	
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実技試験の成績を80%とし、点前確認を行う。ペーパーワークは第2回目・第5回目・第6回目・第13回目にこれまでの授業内容を書きとめ確認する。授業への参加については、稽古への積極性を評価する。</p> <p>実技試験は「不時点前」もしくは「雪吹点前」のどちらかが課題となる。「不時点前」は、茶筌飾り、服紗の使い分け(使い服紗・出し服紗・替え服紗)ができていないか、茶碗を引くタイミングが理解されているかなどを確認する。「雪吹点前」は、雪吹服紗の扱い方(包み方・清め方)が理解されているかを確認する。</p>							
授業の概要							
<p>7～8名のグループに分かれて、不時点前と雪吹点前を完成させることを目標とする。基本点前から茶会に応じた各種の点前や所作の違いを理解する。また煎茶の歴史と種類について学び、実際に煎茶を淹れる。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社 教材：嶋内 麻佐子構成DVD『鎮信流 茶道点前』長崎短期大学特色GP関連事業(2007年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室に携帯を持ちこまない。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・次回の授業までに前回の点前の内容を練習しておくこと。 ・点前の実の習得だけでなく、茶の行事や地域で開催される他流の茶会にも積極的に参加することで幅広い茶道の文化を学んでもらいたい。 ・図書館を利用し、煎茶の種類と淹れ方について事前準備を行うこと。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・濃茶点前復習	濃茶点前の復習。	講義概要（シラバス）を確認する。 教科書 P81～93 を読み、予習・復習をする。
2	・不時点前の概要 ・ペーパーワーク	不時点前の見本を確認し、概要を理解する。	濃茶点前の流れを整理する。 茶筌飾り・服紗の扱い（使い服紗・出し服紗・替え服紗）を復習する。
3	・不時点前稽古①	不時点前の復習。	茶筌飾り・服紗の扱い（使い服紗・出し服紗・替え服紗）を予習・復習する。
4	・不時点前稽古②	不時点前の復習。	茶筌飾り、服紗の使い分け（使い服紗・出し服紗・替え服紗）
5	・花生け ・ペーパーワーク	茶花の真・行・草の生け方について理解する。さらに、花入や花の取り合わせについて学ぶ。	教科書 P39～41 読み、予習・復習をする。
6	・雪吹点前概要 ・ペーパーワーク	雪吹点前の見本を確認し、概要を理解する。雪吹棗の包み方、さばき方など服紗扱いを習得する。	服紗の扱い（使い服紗・雪吹服紗）を復習する。
7	・雪吹点前稽古①	雪吹点前の復習。	雪吹服紗の包み方・ほどき方を予習・復習する。
8	・雪吹点前稽古②	雪吹点前の復習。	客点前の予習・復習をする。
9	・不時・雪吹点前稽古①	不時点前・雪吹点前の復習。2点前の違いを理解する。	不時点前・雪吹点前の自主的な稽古をし、点前の流れを整理する。
10	・不時・雪吹点前稽古②	不時点前・雪吹点前の復習。2点前の違いを理解する。	不時点前・雪吹点前の自主的な稽古をし、点前の正しい型を身につける。
11	・点前確認 （不時・雪吹点前）	不時点前・雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。	不時点前・雪吹点前の完成を目指し、自主的な稽古をする。
12	・煎茶について ・点前確認振り返り	煎茶の歴史と種類について理解する。煎茶を実際に入れてみる。点前確認を振り返り、記録カードを作成する。	教科書 P15～22 を読み、予習復習をする。 点前確認を振り返り、自己評価する。
13	・唐物点前概要 ・ペーパーワーク	唐物点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 P44～47 を読み、予習・復習をする。
14	・唐物点前稽古	唐物点前の復習。拝見の出し方（半東）と拝見の仕方（客点前）について学ぶ。	茶入の扱い・拝見の仕方について予習・復習をする。
15	・唐物点前稽古 ・観月茶会概要	唐物点前の復習（拝見を含む）。茶道文化ⅢBで実施する観月茶会の概要を説明する。	茶入の扱い・拝見の仕方について予習・復習をする。